

2つのコンセプト、5つの基本的な方針、16の教育政策の目標

2つの
コンセプト

2040年以降の社会を見据えた
持続可能な社会の創り手の育成

- 自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材の育成
- Society5.0社会で活躍する、主体性や論理的思考力などを備えた人材の育成

日本社会に根差した
ウェルビーイングの向上

- 個人が幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が豊かさを感じられるものとなるための教育
- 協調的幸福（学校や地域でのつながりなど）と獲得的幸福（自己肯定感など）のバランスを重視

5つの
基本的な
方針

1 グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

- 主体的・対話的で深い学び
- 留学等の国際交流
- リカレント教育

2 誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進

- 多様な教育ニーズへの対応
- 多様性、公平・公正、包摂性のある共生社会の実現
- ICT等の活用

3 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

- 持続的な地域コミュニティの基盤強化
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 生涯学習を通じた地域社会の担い手育成

4 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

- DX化の推進（サービスや業務プロセスのデジタル化）
- GIGAスクール構想（1人1台端末の実現）
- 教育データの分析・利活用

5 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

- 働き方改革
- 多様な担い手との連携
- 各種団体・関係者との対話

16の
教育政策
の目標
（一部抜粋）

確かな学力、豊かな心、健やかな心身の育成

多様な教育ニーズへの対応

イノベーションを担う人材育成

経済的状況、地理的条件によらない
質の高い学びの確保

学校、家庭、地域の連携・協働

DXの推進、ICT環境の整備



キーワード

社会の担い手

ウェルビーイング

豊かさ

先読みの読めないVUCA時代において、自ら主体的に学び個人の幸福や 社会の豊かさを生み出す人材を育てる。

誰一人取り残さない

多様

共生社会

教育DX

社会環境、家庭環境、ニーズなどが多様化する中、すべての人が学ぶことができる環境を整備する。

連携・協働

対話

地域コミュニティ

様々な場面での多様なステークホルダーとの連携・協働により、学校 教育に留まらない多様な学びを提供し、豊かな社会の実現に繋げる。

山梨県教育振興基本計画（R6～R10）の概要

基本理念

主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓く やまなしの人づくり
誰もが教育の機会にアクセスできるやまなし

基本目標

基本目標 1

未来を生きる子供に
必要な力を育む教育の推進

基本目標 2

誰もが可能性を伸ばせる
教育の推進

基本目標 3

教育デジタルトランス
フォーメーション(DX)の推進

基本目標 4

学校を取り巻く教育環境の整備

基本方針

- 1 子供主体の授業への教育観の転換
- 2 成長の基盤となる資質・能力の育成
- 3 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材の育成
- 4 きめ細かな質の高い少人数教育の推進
- 5 多様な教育ニーズへの対応
- 6 人生100年時代を見据えた生涯学習の充実
- 7 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域教育力向上
- 8 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進
- 9 教育DXの推進とデジタル社会を担う人材の育成
- 10 子供と向き合う時間の確保に向けた取り組みの推進
- 11 質の高い教育のための環境整備

キーワード

基本的に国の内容を踏襲し、
次の3つを重視する内容となっている

- 1 将来に向けて主体的に学び、
自らの力で未来を拓く人材の育成
▶ 知識をつけるだけではない、自ら興味を持ち、
“生きる力”が身につく教育の推進
- 2 誰もが学ぶことのできる環境の整備
▶ 年齢、場所、家庭環境などに関わらず、
様々なフェーズで学びが可能となる環境の
整備
- 3 デジタル社会の形成
▶ DXの推進による教育環境の整備と
これからの時代に必須となる
デジタルを活用する技術や知識の習得